

## 会 議 録

### 1 会議名

平成28年度 第1回阿賀野市行政改革推進委員会

### 2 開催日時

平成28年9月1日（木） 午後2時から午後3時25分まで

### 3 開催場所

阿賀野市役所 別館3階 303会議室

### 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・出席：大淵委員長、市村委員長代理、小林委員、太田委員、小野里委員、齋藤委員、菅井委員、荻委員、音田委員（欠席：関口委員）  
（10人中9人出席）
- ・事務局：市長政策課（中野課長、菅原課長補佐、石井係長）

### 5 議題（公開・非公開の別）

- (1) 平成28年度における事務事業評価に係る諮問について（公開）
- (2) 事務事業評価の実施手法等について（公開）

### 6 非公開の理由

なし

### 7 傍聴者の数

0人

### 8 発言の内容

#### 議題

- (1) 平成28年度における事務事業評価に係る諮問について（公開）

委員長： お手元に、9月1日付け市長から委員長あての諮問書を配布させていただきました。趣旨は見ていただければ分かるが、一番大事な部分が「限られた市の予算の中で、それをいかに効率よく使うか」というところになる。今年度は裏面に記載のとおり7つの事務事業について評価を実施したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(2) 事務事業評価の実施手法等について（公開）

（事務局より資料に基づき、事業評価の実施手法等について説明）

委員長： 今年度の事務事業評価は9月16日に実施し、一日で7事務事業行うこととなる。市長に対する答申の取りまとめは9月26日ということで、我々の任期が9月で終わるためタイトなスケジュールになっているが、予定をお願いしたい。内容としてはほぼ昨年同様となるが、いかがか。

（発言なし）

委員長： 私のほうから一つ。事務事業評価シートを見ると、事業費の投入コストが基準値と計画しか出ていないが、実績と指標もあわせて過去3年分出してもらえるとありがたい。

事務局： 了解した。

委員長： 市長からも言われたが、あまり予算の少ないものを挙げてもどうなのかと議員から言われたと。ここに予算規模は書いていないが、あまり額の少ないものを挙げられても、というものもあるし、この7つの事務事業の選び方として、どうなのか。ちなみに、自主防災組織育成事業と市営バス運行事業は過去に一度評価した覚えがある。以前評価したけれど、その実績評価が上がっていないからまたここにきている、ということか。

事務局： 評価シートの裏面に、成果状況という欄があるが、ここでは「横ばい」、課題は「あり」、事業方向性は「維持」という課の方向性が出ている。今回選んだポイントとしては、成果が横ばいあるいは低下であれば、当然課題等があるわけだが、その課題がありながらこれまでどおりの取り組みを続けていくという、課題に対する対応が見えていないものをピックアップした。先ほど予算が少額なものという話があったが、現状の取組方法で、果たして目標値が本当に達成できるのか、という視点で選んでいる。これまでも事業評価を何年も行い、本当に無駄と言われるものは削ぎ落とせたかと思う。ただこれからは、実績額に見合った成果が上がっているかどうかという視点で、改善が必要なら改善、別な取り組みが必要ならそういった指摘があればというところとなる。

委員： 実質、自主防災育成事業は決算額で5万円だが、意味があるのか。

委員長： 5万円かけた分の事業の進行になっているのかということを含めての評価となる。少ない予算だが、紙を刷るだけで5万円飛ぶというのであれば、廃止ということでも良いのかもしれない。

事務局： 地震や災害でも自主防災組織の重要性がうたわれているわけだが、組織はあっても、実際に活動をしているのかといった部分になると疑問がある。

実際に災害が起きたときに、本当にその組織が機能するのかという心配もある。事業費の大きさだけではなくて、市役所の職員の人件費もかかっているわけで、そういう視点も必要なのだと思う。

委員：自治会によっても取り組みは様々。ある自治会では、お年寄りの一人暮らしのところは、お店屋さんが必ず確認に行くという組織図を作っているし、自治会に組織があっても何もしていないところもある。

事務局：まんべんなくそういった活動がなされる体制づくりが必要で、そういう意味で目標を掲げて仕事をしているわけだが、なかなか思うようにいかないという部分もある。

委員長：このあと具体的に評価資料が届く予定なので、それを見て詳しい事業の目指す方向や実績を判断いただければと思う。  
その他、何かあるか。

事務局：委員の任期の関係だが、9月30日をもって2年間の任期が終了となる。事務局としては皆様から再任いただきたいと考えているが、市の指針で、委員を再任する場合は最長6年といった取り決めがあり、平成22年度から着任の2名についてはお願いできないと考えている。残りの8名の委員については、引き続きご協力をいただければというお願いである。

委員長：市の内規では3期6年というのが最長期間ということなので、おふた方は今月いっぱい最後ということになる。他の方々は引き続きお願いしたいということだが、最低限、卒業する2名は後任を専任しなければならない。どういう形になるか。公募か。

事務局：公募は今のところ1名ということで考えている。公募がなければ選任という形になる。時期的にすでに9月に入っていて公募期間がなかなかとれない状況なので、実際には10月から皆さんを再任するというスケジュールにしかならない。申し訳ないが、若干遅れてお願いすることになる。

委員長：任期は就任してから2年間ということになると、9月で切れて、たとえば新規委員として11月から再任という形になると、2年後の11月までということになるのか。ずれて空白ができて構わないか。

事務局：致し方がないと考えている。空白をあけてはダメだという規定はない。

委員長：新たな委員が専任されてから次の委員会ということになるのか。

事務局：そういうことになる。昨年、総合計画を策定し、今すべての事業について再度目標値等の見直しをかけている。言い訳になるが、その事務に時間を取られた影響で9月にずれ込んだので、来年度は5月、6月に内部評価、7月、8月に外部評価という通常のスケジュールにできればと思っている。

委員：たとえば、4月から任期開始というのはできないものか。

- 事務局： 本当はそれがよい。次は改選になり、委員長・副委員長を決めなければならないので、それを4月頃にできれば、会議も1回減らすことができる。
- 委員： 今回終われば春まで会議がないだろうから、名前だけ残して、4月からということはできないか。半年間、任期は延びるけれども。
- 事務局： 許してもらえらるなら、それでもよいのかと。任命しておきながら何か月も会議を開かないという状況は本当は避けたいので、それでも差支えないということであれば、そういう方法もありだと思う。
- 委員長： 事務事業評価のことを言うならば、7月か8月の実施については、それもまた一つ問題があり、以前、説明者が「異動したばかりなので分かりません」と言ったことが何度かあった。「来たばかりでまだ前任者からよく話を聞いてない」と。そうすると、7月に実施することについてはどうなのだろうと。実施時期についても考えていただきたいと思う。
- 事務局： それは組織の内部の問題でもあるが、実際そういう状態になると、本当の新年度の事業スタートが逆に遅れることになる。本来であれば3月中旬に人事異動が出た後で、きっちり引き継ぎをして、4月早々には新年度事業がスタートできるような体制、考え方をしなければならない。これも今春に改善を図ろうと思うが、これまでの事業の流れと、来年以降、前任がどうしているかということを考えていたのかという部分を引き継げるシステムを組み立て直している最中なので、すぐ軌道に乗るかというところが難しいが、徐々に修正を図っていきたいと考えている。
- 委員長： 原則通りでいけば、今年度の事業評価は9月中に終わらせ、新委員の募集等をかけて、10月、11月くらいに最初の委員会を開くということになるか。逆に任命の時期を年度末くらいまでにして、4月に委員会か。
- 委員： そのほうが、切りがいい。
- 委員長： 9月で切れて、新たに3月とか4月に再任される。それでもよい。
- 委員： 規約があるのかどうか分からないが。
- 事務局： そういった取り決めはない。
- 委員長： スタートとしては年度初めが良い。4月の委員会になれば、委員長の選任と平成29年度の事業評価のスケジュールという形になる。
- 委員： 今回の任期は9月いっぱいということで、たまたま評価日9月16日に、台風なり水害なり起きたような場合は、おそらく委員会をやれないと思う。そういう中で、では延期しますという任期もない。10月になるとやれなくなる。そういうことは避けるようにすべきだろうと思う。
- 委員長： 委員の選任あるいは任期について、たとえば、後任が選ばれるまで前任者がその職務を行うという権利義務規定等があるならば、任期が切れても伸ばすことは可能だとは思う。

- 事務局： 通常は7月に評価を実施すべき。その評価結果が次年度の予算に反映されていくことになる。
- 委員： 次年度予算はいつから組み始めるのか。それまでに終われば一番良い。
- 事務局： 通常であれば外部評価を受けて、ではどういうふうを活用するか、この事業は必要ないといった組み立てを8月、9月に行い、ある程度大枠を決めた中で10月から本格的な予算編成に入る。
- 委員： 9月16日では本当は遅い。せめて8月に終わっていないと。何かあったとしても9月半ばには終わるくらいの余裕がないとダメ。
- 委員長： 我々が事業評価をして、この事業をやる、やらない、もしくはこの予算を付ける、削るということを答申したとしても、それを来年度予算に反映させるには10月、11月くらいまでに評価結果が出ていなければいけない。そうするとやはり事業評価は7月か8月にはやっておくのが筋ということになる。今年度は申し訳ないが、なんとか9月中にはやりたいと思う。その他、委員の皆様からも意見などあるか。なければ、今日の会議はこれで終了としたい。

【 閉 会 】

9 問い合わせ先

阿賀野市役所 総務部 市長政策課 企画経営係

TEL：0250-62-2510

E-mail：shichoseisaku@city.agano.niigata.jp